

人間ドックオプション検査

頭部MRI・MRA (要予約)

頭部及び頸部を強い磁気により撮影し、脳や脳内血管、頸部血管の状態を調べます。脳の萎縮、脳腫瘍、脳梗塞、脳出血、脳動脈瘤、頸部血管の狭窄などの異常がわかります。

放射線被曝の心配はありませんが、検査に時間がかかります。体内にペースメーカーや金属を装着の方、閉所恐怖症の方はご遠慮ください。

この検査は大和病院ではなく、市内の六日町にある南魚沼市民病院で行います。午後または別日に、ご自身で南魚沼市民病院に行くことのできる方のみになります。

頭部CT 検査

脳の状態を放射線で撮影してコンピューターで断層(輪切り状)の画像を作製します。脳出血、脳腫瘍、脳萎縮の有無などを調べます。MRIに比べ、短時間で検査できます。

アポリポ蛋白Eフェノタイプ

アポリポ蛋白Eは、主として肝臓で作られ、脂質代謝やコレステロール代謝の調節に重要な役割を果たしていますが、この中で右表に分類されるE4はアルツハイマー病の発症や高齢者の認知機能障害に関わる危険遺伝子として知られています。これを持つ人は持たない人に比べ3~10倍発症率が高いといわれています。

頸動脈エコー 検査

頸動脈の血管を超音波で検査し、動脈硬化の状態や動脈の狭窄がないかをみます。脳血管疾患に対する評価にも用いられます。

1mmを超える部分的な血管壁の隆起をプラークと呼び、プラークが飛んで脳梗塞などを引き起こすことがあります。

この検査では、プラークの大きさ、形状、表面と内部の状態をみることができます。

動脈硬化度測定

手と足の血圧の比較や脈波の伝わり方を検査することで、血管の老化など動脈硬化の程度や早期血管障害を調べることができます。

動脈硬化が進むと脳梗塞、心筋梗塞、腎硬化症、大動脈瘤などの大きな病気を引き起こすことがあります。

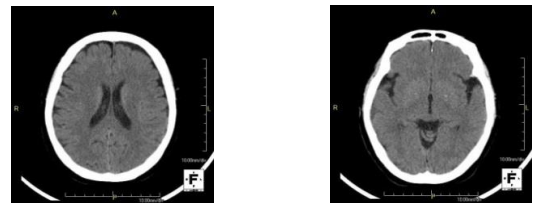
動脈硬化の危険因子は高血圧、糖尿病、脂質異常症、喫煙、ストレスなど生活習慣と深い関わりがあり、生活習慣を改善できれば血管年齢を若返らせることも十分可能です。

各種オプション検査を取り揃えています
お身体のチェックに是非ご利用ください

脳及び血管の検査



MRI機器です(南魚沼市民病院)



頭部CTの画像の一部です

「アルツハイマー病の危険因子」を検査

アポリポ蛋白Eフェノタイプ(蛋白表現型)
遺伝子型で6種類の表現型があります

E 2 : 高脂血症の原因となる

E 3 : 正常型

E 4 : アルツハイマー病の遺伝的危険因子

E 1, E 5, E 7 : 正常型



あなたの血管は大丈夫ですか
硬くなってはいませんか



動脈硬化度測定の様子です

肺ヘリカルCT

CTがらせん状に高速回転し断層撮影します。通常のX線検査では見つけにくい微細な肺がんの早期発見に役立ちます。また、肺気腫などの慢性閉塞性肺疾患の発見にも有効です。

中心から離れた箇所に行ける末梢肺野型肺がんは、咳や血痰などの症状がなかなか出なく見つけにくいものです。このような場合、ヘリカルCTが最も信頼性が高いと考えられています。

従来の胸部X線検査では隠れて見にくい心臓や肋骨などの影に隠れた病変も見つけることができます。

胸腹部CT

胸部から上腹部にかけて断層撮影します。微細な肺がんのほか肺結核、気管支拡張症、気胸、胸部大動脈瘤、肺動静脈瘻、心臓疾患などの病変が、小さなものまで発見できます。

また、肝臓、胆のう、腎臓、脾臓、膵臓の腫瘍や結石などを見つけるのに有効です。

ガスや脂肪のために超音波検査では見えにくい、深部臓器の描出が可能です。

胃カメラ (要予約)

内視鏡により上部消化管の病変を調べます。上部消化管の表層を詳しく見ることができ、不審な部分があればその場で組織を採取することができます。胃がん、胃潰瘍、十二指腸潰瘍、胃炎、食道炎などの診断につながります。

経鼻か経口かを選択できます。個人差がありますが、一般的に従来の口からより鼻からの方が苦痛が少ないといわれ、当院の経鼻胃カメラは好評をいただいております。

組織を採取して検査した場合は別途料金がかかります。

胃カメラは毎年お申込みが多く、日程などのご希望にそえない場合があります。

乳がん視触診

外科医師によりしこりや変化がないかを検査します。他の乳がん検査と一緒に申し込みください。

ご加入の健康保険によっては乳がん検査実施時に必須の場合があります。全国健康保険協会(協会けんぽ)は、平成29年度から乳がん検診時の視触診が必須でなくなり補助がなくなりましたのでご注意ください。

乳がん視触診検査は、下記の曜日は実施できませんのでご注意ください。

○第2・第4木曜日、金曜日、第2土曜日
乳がん視触診、子宮頸がん検査は、ドックの日に行えない場合、後日実施することも可能です。

がんの検査



がんによる死亡率の第一位は肺がんです

喀痰細胞診検査

気管や気管支などに行ける中枢型肺がんは胸部X線検査での発見率は低く、見落とされることも少なくありません。肺がんは痰の中にがん細胞が排出されることも多く、胸部X線検査に加えて喀痰細胞診が必要と考えられています。

特に喫煙習慣のある方、血痰が出たことがある方におすすめです。

喀痰検査は専用容器に3日分の痰を採っていただき、がん細胞が含まれていないかを調べるものです。予約時または事前にご連絡をいただければ容器をお送りしますので当日お持ちいただけます。



子宮頸がん検査

婦人科医により内診と子宮頸部の細胞採取を行い、がん細胞がないか調べます。

子宮頸がんの発生率は、若～中年層で増加しています。早期の子宮頸がんはほとんど自覚症状がなく、自覚症状が現れるのは進行してからです。

早期に発見できれば子宮を残す治療法を選択できますし、治癒する確率が上がります。症状がなくても定期的に検査を受けることをおすすめします。

子宮頸がん検査は、下記の曜日は実施できませんのでご注意ください。

○金曜日、第1・第3土曜日

マンモグラフィ

腫瘍の有無、大きさや形、「石灰化」の有無がわかります。石灰化の約7割は良性ですが、乳がん細胞の一部やがん細胞の周囲の壊死によって石灰化が起こることがあります。乳がんの約半数は石灰化しますので、触診では発見できない小さいがんも発見できます。

マンモグラフィは、乳腺が萎縮し脂肪組織が増加する中高年の方に特に有効です。

マンモエコー

超音波による乳がん検査です。若～中年の方など、乳腺組織が豊富な方でも小腫瘍の発見に有効です。逆に脂肪組織が多くなる高齢層は超音波では発見しにくくなります。

マンモグラフィとの併用で40代の乳がん発見率が1.5倍といわれ、併用が推奨されています。マンモグラフィ併用でない場合は視触診(有料)を追加で受けていただいています。

CEA

腫瘍マーカーの一つで、いくつかの臓器のがんに対して反応がありますが、主に消化器系のがんに対応します。胃、結腸などのがんで陽性率を示します。

CA 19-9

腫瘍マーカーの一つです。主に、膵臓、胆管などのがんで陽性率を示します。

腫瘍マーカーは単独よりいくつかの組み合わせで検査した方が有効です。

CA125

卵巣がん、子宮がんなど主に婦人科系の腫瘍マーカーです。

血液検査で、他の検査と同時に採血します。

妊娠中や生理時、閉経時期は検査数値に影響が出ますので避けてください。

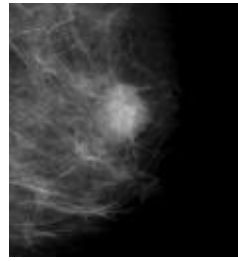
婦人科MRI

卵巣や子宮などを強い磁気により撮影し、がんや病変がないか調べます。

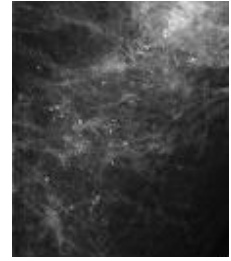
放射線被曝の心配はありませんが検査に時間がかかります。体内にペースメーカーや金属装着の方、閉所恐怖症の方はご遠慮ください。

MRI検査は大和病院ではなく、市内の六日町にある南魚沼市民病院で行います。午後または別日に、ご自身で南魚沼市民病院に行くことのできる方のみになります。

女性のがん罹患率の第一位は乳がんです

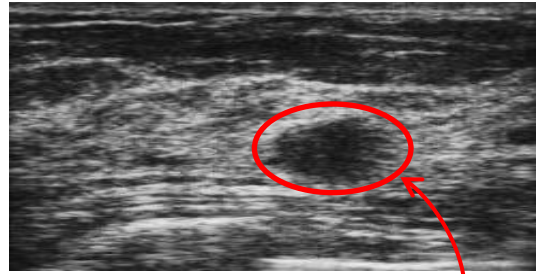


腫瘍

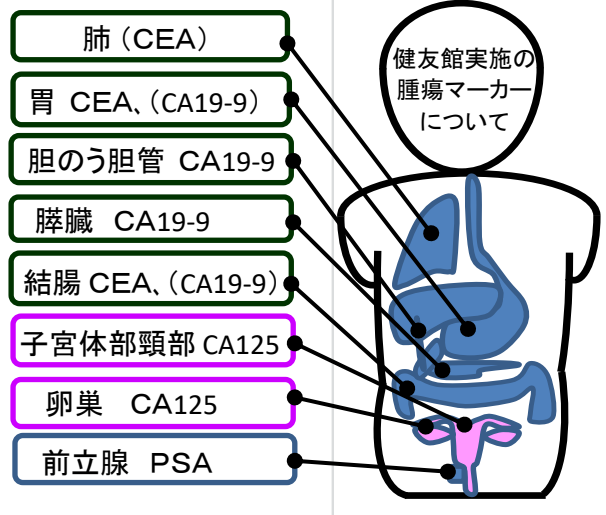


石灰化

乳腺の超音波検査もお勧めです



腫瘍



PSA

前立腺の腫瘍マーカーです。

前立腺がんは、欧米では男性のがん死亡率の2位を占めています。日本でも男性のがん罹患率が急上昇しています。

血液検査で、他の検査と同時に採血します。

前立腺MRI

前立腺や膀胱などを強い磁気により撮影し、がんや病変がないか調べます。

注意事項は婦人科MRIと同じです。



その他の検査

ABC検診

現在がんであるかという検査ではなく、胃がんになるリスクが高いかどうかの検査です。

ピロリ菌の感染とペプシノゲン検査による胃粘膜の萎縮を調べ、胃がんのリスクを4群に分類して判定します。バリウム検査の方、胃検査を受けない方におすすめです。

骨密度測定

骨粗しょう症は、骨密度の低下と骨質の劣化が影響あって骨折リスクが高まる病気といわれています。

DEXA法(放射線使用)で骨折しやすい太ももの付け根の骨を測定し、骨の中にカルシウムなどのミネラルがどれくらいか調べます。

骨の健康を知る手がかりになりますので、特に女性は症状がなくても、40歳以上になったら骨密度を測ることをおすすめします。

内臓脂肪量CT

内臓脂肪型肥満は生活習慣病の要因を作ると言われ、高血圧や脳梗塞、動脈硬化など、危険な病気を誘発するおそれがあります。

おへそ周りを断面撮影して内臓脂肪と皮下脂肪を分離計測し、内臓脂肪量を把握します。

甲状腺機能検査

甲状腺に関連するホルモンの分泌機能に異常がないかを調べます。TSH・FT3・FT4の3項目の検査を実施します。

甲状腺ホルモンが高い場合は、疲労感、多汗、体重減少、下痢気味、集中力の欠如、動悸・息切れ、不眠などの症状がでることがあり、逆に低いと昼間の眠気、少汗、体重増加、便秘がち、皮膚乾燥、思考力低下、むくみなどが起こる場合があります。

簡易PSG検査 (要予約)

睡眠時無呼吸症候群は、肥満、アルコールの飲用、扁桃の肥大、鼻づまりなどを要因として近年増加しています。高血圧や心血管系障害の発症や悪化につながったり、日中の眠気によって交通事故を引き起こす恐れがあります。

この検査は携帯用の専用機器をお貸しし、睡眠時のデータをとっていただき、解析を行うものです。

気になるところは調べてみましょう
ご相談にも応じています

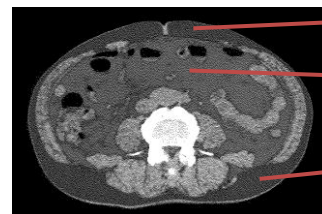
血清ピロリ抗体

世界の40%以上の方がピロリ菌の保菌者といわれ、保菌者は胃炎や胃潰瘍だけではなく、胃がんのリスクが高いことがわかっています。

ピロリ菌の検査を一度もしたことがない方は念のため検査することをおすすめします。



あなたの骨は大丈夫ですか
同年代や若い人に比べてどうですか



皮下脂肪

内臓脂肪

皮下脂肪

気になるおなか
メタボリックシンドロームでは？

インスリン

糖尿病は膵臓で作られるホルモン、インスリンの作用不足により血管内でブドウ糖が高濃度になってしまう病気です。

空腹時のインスリン検査値によって糖尿病のリスクやタイプを知ることができます。

歯科検診 (要予約)

歯科衛生士が、虫歯や歯周病など口腔内をチェックします。

虫歯はつけ根や噛むところだけでなく、歯と歯の間の見えないところにもできるものです。予防のためにもチェックを受けましょう。

市町村で助成を行っている歯科検診はこのオプション項目とは違い、医師による検診です。別に予約が必要となりますのでご注意ください。

麻疹抗体

麻疹は、一般には「はしか」と呼ばれています。感染力が非常に強く、免疫を持たない人が感染した場合、ほぼ100%の確率で発症するといわれています。一般に、18歳以上の大人がかかると重症化しやすい傾向があります。

この検査は、麻疹に対する免疫がどの程度あるかを調べます。

非特異的IgE

アレルギーとは、本来は体内に入っても害のないものに対して過剰に反応し病的状態を作り出してしまふことをいいます。

この検査は、アレルギー体質かどうか、全体的なアレルギーの程度、強さを測定します。

一般アレルギー検査(5項目)

アレルギー反応を起こす物質を特定する検査です。アレルギーの強さもわかります。

この検査では、「ダニ、ハウスダスト、アスペルギルス、イヌ皮膚、ネコ皮膚」の5種類に対するアレルギーを調べます。

春のアレルギー検査(3項目)

アレルギー反応を起こす物質を特定する検査です。アレルギーの強さもわかります。

この検査では、特に春に多い「スギ、ヒノキ、ハンノキ」の3種類に対するアレルギーを調べます。

夏・秋のアレルギー検査(3項目)

アレルギー反応を起こす物質を特定する検査です。アレルギーの強さもわかります。

この検査では、夏から秋に多い「ブタクサ、ヨモギ、カモガヤ」の3種類に対するアレルギーを調べます。

蜂のアレルギー検査(3項目)

アレルギー反応を起こす物質を特定する検査です。アレルギーの強さがわかります。

この検査では、「ミツバチ、スズメバチ、アシナガバチ」の3種類の蜂に対するアレルギーを調べます。

アレルギーの強い方は、蜂に刺された時にアナフィラキシーショックを起こす確率が高くなります。

風疹抗体

近年、麻疹と同じく海外への渡航や罹患者からの感染などにより増加傾向にあります。

妊娠中の女性が感染すると、赤ちゃんに「先天性風疹症候群」という重篤な合併症が生じる確率が高いことが知られています。

この検査は、風疹に対する免疫がどの程度あるかを調べます。ワクチン接種の目安になります。

2019年度から3年間で「昭和37年4月2日から昭和54年4月1日の間に生まれた男性」を対象に風疹クーポンが発行されます。クーポン券をお持ちいただくと無料で検査を受けることができます。対象年齢でクーポン券のない男性はお住まいの市町村の担当課にお問い合わせください。

アレルギーView39

アレルギー反応を起こす物質を特定する検査です。アレルギーの強さもわかります。

この検査では、一度に39種類の物質に対するアレルギーがあるかどうかわかります。

吸い込んで体内に入るものうち、「ダニ、ハウスダスト、アスペルギルス(コウジカビ)、イヌ皮膚、ネコ皮膚、スギ、ヒノキ、ハンノキ、ブタクサ、ヨモギ、カモガヤ、オオアワガエリ、シラカンバ、カンジダ、ラテックス、マラセチア、アルテルナリア(スズカビ)、ガ、ゴキブリ、」と食べて体内に入るものうち「キウイ、バナナ、ゴマ、ソバ、ピーナッツ、小麦、大豆、米、マグロ、サケ、エビ、カニ、豚肉、鶏肉、牛肉、ミルク、オボムコイド、卵白、サバ、リンゴ」の39種類です。

左記の「一般アレルギー検査」の5種類と「春のアレルギー検査」の3種類、「夏・秋のアレルギー検査」の3種類を含んでいます。「蜂のアレルギー検査」の3種類は含んでいません。

アレルギーかなと思ったら、アレルギーの元になっている物質を検査して、除去・回避することによって、症状の軽減が期待されます。アレルギーが強い場合は受診して医師にご相談ください。

